



5 大学合同 Faculty Development

2018年11月12日（月）13-16時

場所：各大学

（本事業の特色でもある、e-learningシステムを用いライブ中継で実施）

本事業の目的は「健康長寿を育むためのあらゆるライフステージに対応した全人的医療を担う人材養成の実現」であり、そのためには多領域、多面的な教育が必要となる。本事業の4年間の経験を踏まえ、本事業の目的を達するために**必要な教育領域**を再検討し、**学習目標**を設定する。

また、各大学のコースは、事業開始前に構築されたものであり、コア科目以外は各大学の教育資源のみで構成されている。5年間の活動により本事業内に多くの共同利用可能なコンテンツが蓄積された。そこで、各大学の「学習目標」を網羅できるよう、**共有コンテンツも含めて各大学のコースを再構築**する。また、本事業で共有される教育資源（座学）のみでは健康長寿社会の達成に貢献できる歯科医師を養成することはできないと考えられ、どのような**臨床、臨地実習**を組み合わせると、本事業がより効果的に機能するか検討する。

プログラム

開会の挨拶

FDの趣旨説明

セッション1 健康長寿社会の達成のために必要な教育領域とは？

グループディスカッション～スライド作成（45分）、発表（8分ずつ）

- 各大学で、健康長寿社会の達成に貢献できる歯科医師を養成するための教育として、モデルコアカリキュラムに準じて「ねらい」、「**学習目標**」を検討
- 「ねらい」には各大学の「超高齢社会における目指すべき歯科医師像」を明記する
- 発表の際には、セッション2のために、各大学から提供し得るe-learningコンテンツについて紹介も行う

セッション2 教育コース再構築

グループディスカッション～スライド作成（30分）、発表（8分ずつ）

- セッション1の「**学習目標**」を網羅できるように、本事業の教育資源から選択肢、各大学のコースを再構築する。
- 「学習目標」を網羅するために、本事業の教育資源では合致するものがない場合は**無理に選択しなくて良い**（→今後、拡充が必要な領域）
- コース名の変更も可。
- 自学のコア科目は必ず組み込む
- 講義コマ数は10コマ以上
- 各コースと組み合わせるべき、（自学で実現可能な）臨床実習、臨地実習も提案する。

閉会の挨拶